

平成 30 年 9 月 14 日

国際デュアルビジネス専門学校

校長 田崎 雅代 殿

国際デュアルビジネス専門学校

学校関係者評価委員会

委員長 渡辺 淳

### 学校関係者評価委員会報告

平成 30 年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告  
します。

#### 1. 学校関係者評価委員

- ① 委員長 渡辺 淳 全国語学ビジネス観光教育協会  
事務局長  
(外部有識者 第 4 条 4 項)
- ② 委員 鈴木 隆夫 ベルモントホテル株式会社代表取締役  
(業界関係者 第 4 条 1 項)
- ③ 委員 本田 翔丸 日本ホテル株式会社  
(卒業生 第 4 条 1 項)

#### 2. 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第 1 回委員会 平成 30 年 9 月 11 日  
(会場 国際デュアルビジネス専門学校会議室)
- 第 2 回委員会 平成 31 年 1 月 開催予定

#### 3. 学校関係者評価委員会報告

別紙の通り

国際デュアルビジネス専門学校  
平成 30 年度 学校関係者評価委員会報告書

平成 30 年 9 月 14 日

国際デュアルビジネス専門学校 学校関係者評価委員会

# 平成 30 年度学校関係者評価報告書

## I. 平成 29 年度重点目標について

### 1. 重点目標

アジアを中心とした世界各国から学生が集う、「ホテル」と「観光」の国際ショナルスクールを目指す。

「企業実習」を通じた実践教育を目指す。

「語学教育」(英語・日本語)重視の学校を目指す。・礼儀を重んずる学校を目指す。・自主性を重んずる学校を目指す。

[評価] 3

重点目標の各項目について、取り組み、一定の成果を得ている。

[今後の改善策]

留学生が増加し、学生の管理に努力が必要である。また、日本語能力の向上、社会人としてのマナー教育が重要である。「しつけ」や「礼儀」がしっかりしていれば、企業側から見て「ほしい人材」となる。

日本人を増やすには、抜本的な改革が必要である。

## II. 各評価項目について

### 1. 教育理念

[評価] 3

教育理念実現するため取り組んでいるが、留学生の増加、国籍の変化など、対応すべき課題は多い。

[今後の改善策]

カリキュラムの改革。

企業実習を充実させていく。

ボランティア活動の奨励により、社会貢献のできる人材を育成する。

### 2. 学校運営

[評価] 3

留学生は大幅な増加が続いている。日本語能力は入試競争率が約 3 倍

となり、向上がみられる。日本人学生数は減少した。  
中途退学は、留学生、日本人ともに減少していない。

[今後の改善策]

留学生が多く、日本人と留学背が一緒に学ぶことのメリットを PR し、本校の強みとしていく。

「しつけ」礼儀」の教育を徹底し、社会に通用する人材を育成する。

### 3. 教育活動

[評価] 3

日本版デュアルシステム、職業実践専門課程の認定により、即戦力となる人材育成を続けてきた。

非漢字圏の留学生の増加により、読み書きがネックとなり、就職に苦戦している。

[今後の改善策]

学生管理の徹底。担任、ホームルーム、面談等、問題点の早期発見、対応により、中途退学を防ぐ。

職員と講師、講師間の連携強化が必要である。

### 4. 学修成果

[評価] 3

就職については、日本人は 100%達成し、留学生も 86%と向上した。

ボランティア活動については、浅草消防署から学生、学校ともに表彰された。

[今後の改善策]

留学生の就職に関しては向上が見られるが、日本語能力が重要であり、その教育がカギとなる。

積極的にボランティア活動を支援し、奨励していく。

### 5. 学生支援

[評価] 3

就職支援は就職課を中心に行っている。

中途退学防止には、出席不良者を毎週発表し、担任と教務が連携して対応している。

学生相談は、専門のカウンセラーは設置していないが、職員全員で対応している。

[今後の改善策]

担任、ホームルーム、面談等により、問題点を早期発見し、職員が連携して、対応していく。

## 6. 教育環境

[評価] 3

教室照明器具の LED への交換を進めている。

3, 4, 5 階のブラインドをロールカーテンに交換した。

大型テレビ、ブルーレイプレイヤーセットを 3 セット購入し、全教室で使用できるようになった。

[今後の改善策]

計画的整備が必要。

## 7. 学生の募集と受け入れ

[評価] 3

日本人学生は減少、留学生は昨年に続き増加した。

日本人学生をいかに集めるか、留学生の質の向上が課題である。

[今後の改善策]

留学生が多いということを強みとする PR が必要。日本人にとってもメリットとなることを PR していく。

## 8. 財 務

[評価] 3

留学生の増加により新入生は増加し、総学生数が326人となった。  
航空貿易学科を廃学科とし、学科運営も合理化された。  
これにより、財務状況はかなり改善された。

[今後の改善策]

医療・医薬学科を来年度廃学科とし、より効率的な学校運営を行っていく。

9. 法令等の遵守

[評価] 3

関係法令の遵守は、最優先で行っている。  
個人情報保護を適正に行っているが、情報漏洩対策は十分とは言えない。  
自己点検自己評価も実施している。

[今後の改善策]

個人情報漏洩対策を徹底する必要がある。  
自己点検自己評価の精度を向上させる必要がある。

10. 社会貢献・地域貢献

[評価] 3

浅草消防署と連携して、災害時支援ボランティアとして、留学生12名が登録し隅田川花火大会等行事に参加した。社会貢献・地域貢献は積極的に行っている。  
国際交流については、多くの留学生を受け入れることにより、行っている。

[今後の改善策]

引き続き、浅草消防署や台東区と連携して行っていきたい。